

## 市長発言要旨

### 【発表事項】

#### ① 米沢食の市場 特別企画「土用丑&牛の市」の開催について

「米沢食の市場」は、昨年末に地元スーパーが閉店したことに伴い、米沢魚市場・青果市場など、多くの地元食品関係者のみなさんが一致団結して立ち上げた、新しいマーケットであります。

今年2月にスタートした土曜朝市は、毎週大変な賑わいを見せており、地域に活力をもたらしているものと実感しております。ご尽力いただいている関係者のみなさまに、心より感謝申し上げます。

7月19日（土曜日）には、米沢魚市場において、【土用丑&牛の市】が開催され、魚河岸こだわりの「鰻」と、鮮度抜群の「牛肉」の即売会が行われます。

時間は9時から12時までとなりますが、商品は売り切れ次第終了となりますので、ぜひお早めにご来場ください。また、米沢魚市場の海産物や、野菜・果物などの農産物、加工食品や花なども販売されるほか、キッチンカーの出店もございます。

米沢の食を堪能しつつ、しっかりとスタミナをつけて、この暑い夏を乗り越えていきたいものです。皆様ぜひ、足をお運びください。

#### ② よねざわインターンシップ week について

米沢でのキャリア・就職活動を応援する「よねざわインターンシップウィーク」についてお知らせします。

米沢で5日間に渡り有償型のインターンシップが開催されます。市内企業10社の協力のもと、これから就職先を考える短大生・大学生の皆さんに実際に市内企業での就労体験をしていただける貴重な機会となっています。

決して長い時間ではありませんが、米沢で働くことを選択肢に加えていただければと思っております。インターンシップは夏休み中の開催となりますので、市外で学ばれているお子様にも、ぜひ親御さんからご紹介いただければ幸いです。

また、このインターンシップでは市内の企業だけでなく、行政コースとして米沢市も協力しております。行政職に興味のある方は、ぜひご参加いただき、米沢市職員の一員として地域社会に貢献する道を考えていただければと思います。

申込みの締め切りは今年25日までとなっておりますので、ぜひ多くの皆様からのご応募をお待ちしております。

#### ③ 国宝 上杉本洛中洛外図屏風の保存修理実施に伴うガバメントクラウドファンディングについて

国宝 上杉本洛中洛外図屏風は狩野永徳の作品で、織田信長から上杉謙信に贈られたと伝わっており、平成7年に国宝に指定されました。京都を一望し、洛中と洛外の四季、そこに生活する人々を書き込んだ洛中洛外図は、江戸時代に流行し、現在100点以上が現存していますが、江戸時代以前の作品はわずかしか確認されていません。

本図は平成11、12年に大規模な修理を行いました。それから20年以上が経過し、経年による

傷みが目立つようになったため、再度修理が必要となりました。本図の修理では、絵の具の剥落(はくらく)止め、ひび割れの補修等を予定しておりますが、文化財の修理には専門家による細密な作業が必要であり、時間も費用も多くかかります。そこで今回、ガバメントクラウドファンディングによるご支援をお願いすることにしました。募集は令和7年7月8日に開始しており、10月5日までを予定しています。目標金額は600万円です。

上杉本洛中洛外図屏風は400年以上もの間大切に受け継がれてきた、日本の宝です。皆様のご支援がこの貴重な文化財を後世に伝えていく力となりますので、どうかご協力をよろしく申し上げます。